

# 線形代数学第 2 - 中間試験問題 -

情報システム工学科 1 年生

平成 16 年度後期 - 2005.1.12 -

1. ベクトル  $a$  と  $b$  がはさむ角度を  $\theta$  とするとき, 三角形の余弦定理に基づいて次式が成り立つことを示せ.

$$\cos \theta = \frac{a^T b}{\|a\| \|b\|}$$

さらに, この関係に基づき, 次の Schwarz の不等式が成り立つことを示せ.

$$|a^T b| \leq \|a\| \|b\|$$

(参考) 三角形の余弦定理: 三角形 ABC において, 辺 AB と AC がはさむ角度を  $\theta$ , 辺 AB, BC, AC の長さを各々  $a, b, c$  とすると,

$$b^2 = a^2 + c^2 - 2ac \cos \theta$$

2. 直線  $y = C + D \cos t$  で 3 点  $(t, y) = (0, 2), (\pi/2, 3), (\pi, 5)$  を近似するとき, 誤差の二乗和を最小にするように  $C, D$  を求めよ.  $y, C, D$  はスカラーである. また, このグラフを  $t$ - $y$  平面上に図示せよ.

3. ベクトル  $b = [1, -1, 1]^T$  をベクトル  $a = [1, 1, 0]^T$  上の成分  $b_1$  とこれに直交する成分  $b_2$  に分解せよ. さらに, ベクトル  $b_1$  と  $b_2$  が直交することを確認せよ (参考) ベクトル  $a$  上の成分は  $b$  から  $a$  への射影である. また,  $b = b_1 + b_2$  である.

4. 線形独立なベクトル  $a_1 = [1, 0, 1]^T, a_2 = [1, 1, -1]^T, a_3 = [0, 1, 2]^T$  を互いに直交するベクトル  $v_1, v_2, v_3$  に変換せよ (ベクトルの長さを 1 にする必要はない). Gram-Schmidt の直交化法を利用する.

5. 次の問に答えよ.

(a) 行列  $A$  の行列式は固有値  $\lambda_i$  の積に等しいことを証明せよ.

$$\det A = \lambda_1 \lambda_2 \cdots \lambda_n$$

(b) 行列  $A$  の対角要素  $a_{ii}$  の和 (トレース) は固有値  $\lambda_i$  の和に等しいことを証明せよ.

$$a_{11} + a_{22} + \cdots + a_{nn} = \lambda_1 + \lambda_2 + \cdots + \lambda_n$$

(参考) 固有値は

$$\det(A - \lambda I) = 0$$

から計算される. 行列式は各行, 各列から 1 個の要素を選び, 合計  $n$  個の要素の積の和として計算される. この計算で, 対角要素の和が現れる項に着目する. さらに, 恒等的に次の関係が成り立つ.

$$\det(A - \lambda I) = (\lambda_1 - \lambda)(\lambda_2 - \lambda) \cdots (\lambda_n - \lambda)$$

固有値の積は上の恒等式で  $\lambda$  にある値を代入して求める. 固有値の和は  $(-\lambda)^{n-1}$  の係数に着目する.

6. 次に示す行列式の性質 (1) (2) (3) (4) のいずれかを用いて, 性質 (5) を証明せよ.

(1) 行列式は一つの行に関して線形である.

(2) 2 つの行が交換されると行列式は符号を変える.

(3) 単位行列の行列式は 1 である.

(4) 2 つの行が等しければ, 行列式は零である.

(5) ある行列を何倍かして他の行に加える (から引く) ことにより, 行列式は変わらない.

7. 次の行列式を求めよ．行列の性質 1 ~ 10 , または行列式の適当な公式を用いて計算する．

$$\mathbf{A} = \begin{bmatrix} 2 & -5 & 0 & -1 \\ 1 & -2 & 3 & -4 \\ 1 & 0 & -1 & 0 \\ 2 & -3 & -4 & 3 \end{bmatrix} \quad \mathbf{B} = \begin{bmatrix} 2 & 0 & 0 & 0 \\ -1 & -1 & 0 & 0 \\ 7 & -3 & 5 & 0 \\ 0 & -1 & 5 & -2 \end{bmatrix} \quad \mathbf{C} = \begin{bmatrix} 2 & -1 & 3 & 1 \\ 5 & -2 & 1 & 4 \\ 2 & -1 & 3 & 1 \\ -8 & 9 & 1 & 3 \end{bmatrix} \quad \mathbf{D} = \begin{bmatrix} 2 & -1 & 9 & -7 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \\ 7 & -8 & -5 & 3 \\ 2 & -3 & 5 & -6 \end{bmatrix}$$

8.  $4 \times 4$  行列  $A$  の階数が 3 であるとき,  $\det A$  を求めよ．理由も記すこと．